



ケータイ・スマホについて

今の時代、小学生も自分のスマホを持っていてコミュニケーションツールとして使用しているケースは増える一方です。便利な反面、LINE、インスタなどでのやり取りで、友達間のトラブルにつながる危険性は常にあります。

以前に受けた「ケータイ・スマホ教室」からの注意事項を紹介します。

【低学年】

- ①無料ゲームだからとやっていると、ある時点から有料になり気づくと大金の請求対象になることもある
- ②ゲームやメールのやり取りにハマりすぎると、スマホを見つけていないと不安になり、勉強や自分がやるべきことの時間がとられていく
- ③勝手に人のことを書いたり悪口を書いたりすると、取り返しのつかない大問題に結びついてしまうこともある
- ④ながらスマホは危険がいっぱい

【高学年】

- ①メールでの誤解が人権問題や暴力事件に発展することもある。だから「想像力と思いやりを忘れずに」ということが大事。
- ②人の写真の無断投稿は「名誉棄損罪」「児童ポルノ規制法」に関わることもあり、自分や人の一生の傷になることもある。だから「一歩立ち止まって考える」ことが大事。
- ③SNSに自分の情報・写真を投稿すると、個人が特定される。ネットの世界には、詐欺師・犯罪者・ストーカー・暴力をふるう人もいる。被害にあつて困ったら、警察や公的機関に相談することが大事。

学生にとっては、自分のスマホだと言えども、保護者が買い与えたものであるはず。保護者の監視・責任のもとに子どものスマホがあります。保護者が自分の子どものスマホを定期的にチェックすることは、必要です。

また、「子どもが送ろうとしている文章や画像が保護者に見られても大丈夫か？」の視点がトラブル防止の一つの目安になると思います。

【見守り・あいさつ運動】



登校時には、地域の町会・更生保護女性会・主任児童委員の方々が、子どもたち「見守り」や「あいさつ運動」をしてくださっています。

【たてわり活動】



「千草班」に分かれての活動です。リーダーの6年生が考えた内容を実施しました。「フルーツバスケット」「宝さがし」「ドッジボール」「おにごっこ」など6年生のおかげでみんなが楽しめる時間になりました。

【水泳指導】



本年度から水泳指導は、和気町の屋内プール「マコトスイミング」で行っています。6月中旬から7月にかけて計5回の計画です。バスで送迎してもらい、天候関係なく実施でき、専門の指導員さんに教えてもらえます。回数を重ねるごとに子どもたちも慣れてきて、楽しく学べて上達が早いです。